

令和5年度の子育て・教育関連の主な事業（第2期廿日市市教育大綱基本方針別）

※ ㊦は「新規事業」を、㊧は今までの事業を拡充したことを表しています。

《基本方針①》

まち全体で子どもを育てます

重層的支援体制整備事業（母子保健事業関連）

4,753万1千円（前年度 4,923万3千円）

市内各ネウボラにおいて、すべての子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠届出時から妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、定期面談や継続的な支援につなぐ伴走型相談支援を充実させます。

妊娠・子育て応援金（母子保健事業）

7,640万円

出産・育児に必要な子育て用品購入費助成等の経済的支援（妊娠時5万円、出産児童1人あたり5万円）を実施します。

※令和4年度は12月補正予算で対応

㊦ 不妊治療費助成事業

180万円

先進技術を使った治療など、保険適用とならない特定の不妊治療に対し、広島県が助成対象としている経費の一部を支援します。

こども医療費給付事業

3億1,705万1千円（前年度 3億2,191万3千円）

こどもの医療費に係る経済的な負担を軽減し、子育て世帯を支援します。

㊦ 私立保育園定員払い事務費補助金（私立保育園運営事業）

2,200万円

入園を希望する児童を受け入れるため、保育士確保に取り組む私立認可保育園に対し、その費用を支援することにより、待機児童を発生させない環境づくりに努めます。

【令和4年度3月補正繰越】私立保育園運営事業 学校給食管理運営事業

6,132万円

物価高騰に伴う給食費の負担増加を軽減するため、令和4年度に引き続き、小中学校や私立保育園の給食費に対し支援を行います。

※令和4年度は6月補正予算で対応

㊦ 保育園門扉オートロック導入（保育園維持管理事業）

1,200万円

園児の抜け出しや不審者の侵入を防ぐため、公立保育園の門扉をオートロック化します。

㊦ 宮島幼稚園改修（保育園整備事業）

1,185万5千円

宮島地域の教育・保育ニーズに対応するため、宮島幼稚園を改修して認定こども園として整備するための実施設計を行い、令和7年度の開園を目指します。

- ㊦ 児童会管理運営事業** **4,192万4千円**（前年度 2,383万円）
 民間事業者が行う留守家庭児童会の運営にかかる経費を補助します。
- ㊦ 子どもの居場所支援等事業（児童福祉一般事業）** **1,985万円**
 生活や学習を行う上での環境に困難を抱える子どもたちを支援するために、子どもが安心して過ごせる居場所を提供します。
- ㊦ コミュニティ・スクール拡充（学校教育振興一般事業、地域学校協働活動事業）**
110万3千円（前年度 48万6千円）
 学校運営協議会を、全小・中学校に設置し、学校運営や学校の課題等について熟議するコミュニティ・スクールを拡充します。
- 地域学校協働活動事業** **1,632万7千円**（前年度 1,620万5千円）
 地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みづくりを進めるとともに、地域の活性化を図ります。
- ㊦ 子ども通学路安全対策事業** **640万**（前年度 475万円）
 日常的に通う通学路において、交通安全対策を強化します。
- ㊦ 県立佐伯高等学校の魅力化（中山間地域振興事業）**
2,586万3千円（前年度 1,824万8千円）
 特色ある部活動の活動支援を始め、下宿先の確保や公営塾の開催など、地域一体となった高校の存続や魅力化に関する取組を行います。
- 子どもの学習・生活支援事業** **883万円**（前年度 882万8千円）
 生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもに対し、学習の機会や居場所を提供するとともに、保護者の相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行います。

《基本方針②》

たくましく自立し、学び合い高め合う教育を推進します

- 学校における働き方改革推進（学校教育振興一般事業）**
1,976万7千円（前年度 2,314万4千円）
 学校における働き方改革の推進のため、教務事務支援員及び部活動指導員を配置します。

- ㊦（中学校）休日の部活動の地域移行（学校教育振興一般事業）** **476万2千円**
 中学校における休日の部活動の地域移行を段階的に行うため、複数校の運動部・文化部でモデル事業を実施します。

㊦ **学校におけるICT支援（学校教育振興一般事業）**

1,906万2千円（前年度 1,637万2千円）

ICT指導員、ICT支援員を配置し、ICT機器の効果的な利活用のための人的支援を行います。

㊦ **小学校ICT活用教育推進事業、中学校ICT活用教育推進事業**

2億1,413万3千円（前年度 1億7,806万2千円）

廿日市市立学校の児童生徒が、高度情報通信社会に対応できるよう、授業等で情報教育機器を活用できる環境を整備、維持管理します。

学校図書館活用推進事業

1,000万円（前年度 2,700万円）

小学校6校、中学校4校の学校図書館の環境整備及び書籍の更新を行います。

国際理解教育事業

5,748万5千円（前年度 5,748万5千円）

子どもたちが、異文化を理解し、外国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるため、ALT（外国語指導助手）を全幼・小・中学校に配置します。

㊦ **小学校教育振興一般事業、中学校教育振興一般事業**

1,279万5千円

一部の小・中学校において、屋内温水プール施設を利用した水泳授業により、時期を問わず、安全かつ効果的な水泳指導を試行的に実施します。

㊦ **不登校総合対策事業**

1億6,308万2千円（前年度 1億2,731万円）

不登校児童生徒の支援をより一層充実させるため、青少年指導員を増員し、廿日市地域、大野地域及び佐伯地域に支援の拠点となる子ども相談室をそれぞれ開設します。

また、子どもつながり支援員、子どもつながり看護員を各校へ配置し、気になる児童生徒にきめ細やかな支援を行います。

㊦ **小学校リニューアル事業、中学校リニューアル事業**

8億9,687万2千円（前年度 2億9,394万4千円）

児童生徒の安全・安心を確保するとともに、快適かつ安定した学習環境を提供するため、バリアフリー化及び老朽化対策などに取り組みます。（廿日市小・佐方小・平良小・原小・金剛寺小・宮園小・四季が丘小・宮内小・地御前小・阿品台東小・友和小・津田小・大野東小、七尾中・四季が丘中・佐伯中）

《基本方針③》

いのちを大切に作る心を育みます

いじめ対策・未然防止（学校教育振興一般事業）

2,533万7千円（前年度 2,581万2千円）

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

㊦ 自殺対策事業（健康増進事業）

66万円（前年度 24万8千円）

新型コロナウイルス感染症の影響などにより自殺へのリスクが高まっている中で、市職員や教職員等に対してゲートキーパー養成講座を実施し、見守りを強化します。

㊧ 健康増進事業

200万円

自殺対策に関する次期計画を策定します。

《基本方針④》

ふるさとに誇りと愛着をもつ心を育みます

文化財保存・保護事業

3,488万2千円（前年度 4,429万2千円）

文化財の保存・継承・活用を進めるため補助を行います。

シティプロモーション事業（廿学運営・ふるさと学習の支援）

609万4千円（前年度 1,078万2千円）

本市に関わり活躍している様々な分野の「先生」から、地域の歴史や文化、産業、新たな取組等を楽しく学び、市の魅力を再発見できる、はつかいち再発見講座「廿学」をラジオ番組として実施します。また、市内の小中学校および高等学校の児童・生徒の「ふるさと学習」を支援し、シビックプライドの醸成を図ります。

㊨ 広報広聴事業

52万5千円（前年度 4万9千円）

子ども議会を開催し、子どもたちの市政への関心と参画意識を高めるとともに、魅力的なまちづくりに向けた提案・提言を行うことを通じて、自分の考えや思いを相手に伝えることができる力を育成します。

生涯にわたる一人ひとりの学びを支援します

- ⑤ **生涯学習推進事業** 386万1千円
生涯学習の方針を作成するにあたり、ワークショップ及びアンケートなどを実施します。
- ⑥ **女子野球タウン推進事業（スポーツ推進事業）** 500万円（前年度 170万円）
女子野球タウン構想に基づき、女子野球選手の裾野拡大や、選手の活動支援などの事業を継続して実施します。
- ⑦ **全国大会、国際大会等出場者支援（スポーツ推進事業）** 146万円（前年度 60万5千円）
市民のスポーツ意識の高揚と競技力の向上を図る目的で交付している報奨金について、交付金額を見直し、支援を強化します。
- ⑧ **トップアスリートふれあい事業（スポーツ推進事業）** 200万円（前年度 100万円）
トップアスリートを招いたスポーツ教室を開催します。
- ウエスタン・リーグ開催事業（スポーツ推進事業）** 700万円（前年度 470万円）
官民一体の廿日市市ウエスタン・リーグ開催実行委員会にて、ウエスタン・リーグの開催を盛り上げるとともに地域の活性化を目指します。
- ⑨ **HIROHAI 佐伯総合スポーツ公園リニューアル（公園整備事業）** 3億2,624万5千円（前年度 2,676万円）
スポーツ環境を整備するため、HIROHAI 佐伯総合スポーツ公園の大幅なリニューアルを行います。
- ⑩ **AIカメラによるスポーツのライブ配信（スポーツセンター等管理事業）** 305万8千円
自動で撮影・編集ができるAIカメラを佐伯総合スポーツ公園野球場に設置し、試合をライブ配信します。あわせてこの配信サイトで、本市中山間地域などの魅力を発信します。
- ⑪ **各地域における活動交流拠点管理運営（市民センター管理運営事業、多世代活動交流センター管理運営事業）** 2億2,606万1千円
(債務負担行為 令和6年-令和8年 1億300万円)
(佐伯地域)
浅原地区での地域住民主体による地域経営やその活動拠点となる「あさはらまちづくり交流センター」の管理運営を行うことで、地域主体の持続可能なまちづくりを進めます。

(吉和地域)

令和5年5月に供用開始し、地域運営組織による指定管理がスタートする「吉和ふれあい交流センター」を拠点に、生涯学習の推進や、まちづくり活動の支援に加え、地域内外との交流促進などに取り組みます。

(大野地域)

市民の活動と交流の拠点として令和5年3月に供用開始した「フジタスクエアまるくる大野」を、すべての世代を対象に、子育て環境の向上、生涯学習の振興、スポーツの推進及び福祉の増進を図るため、民間のノウハウを活かした施設の一体的な運営を行います。

⑧ 市民センターリニューアル事業 3億960万6千円(前年度 1,651万円)

生涯学習やまちづくりの拠点である市民センターを市民が安全、快適に利用できるよう、バリアフリー化などの実施設計や改修工事を行います。(地御前・阿品・串戸・阿品台・四季が丘・玖島・大野西市民センター)

⑨ 学校体育施設予約システム導入(体育施設管理運営事業) 230万7千円

市内の各学校体育施設において、施設予約から電子決済まで可能な予約システムを試行的に導入します。

⑩ 障がい者スポーツ促進(スポーツセンター等管理事業) 230万8千円

普段、スポーツ施設を利用して運動する機会のない障がいのある人を対象としたスポーツイベントを開催し、施設利用を促進するとともに、障がいのある人とない人が互いにスポーツに親しむことができる共生社会の実現を目指します。